

日本初！「SPPM2.0」がiOS9端末への新アプリ配布方式に対応 Apple IDを利用しないアプリのインストールを実現

株式会社 AXSEED が開発・提供する MDM「SPPM2.0」は、国内ベンダーの MDM 製品としてはじめて iOS9 の新アプリ配布方式(新 VPP^(※1))に対応しました。^(※2)これにより、企業は Apple ID を利用することなく、管理下にある端末にアプリを配布し、管理することが可能となりました。

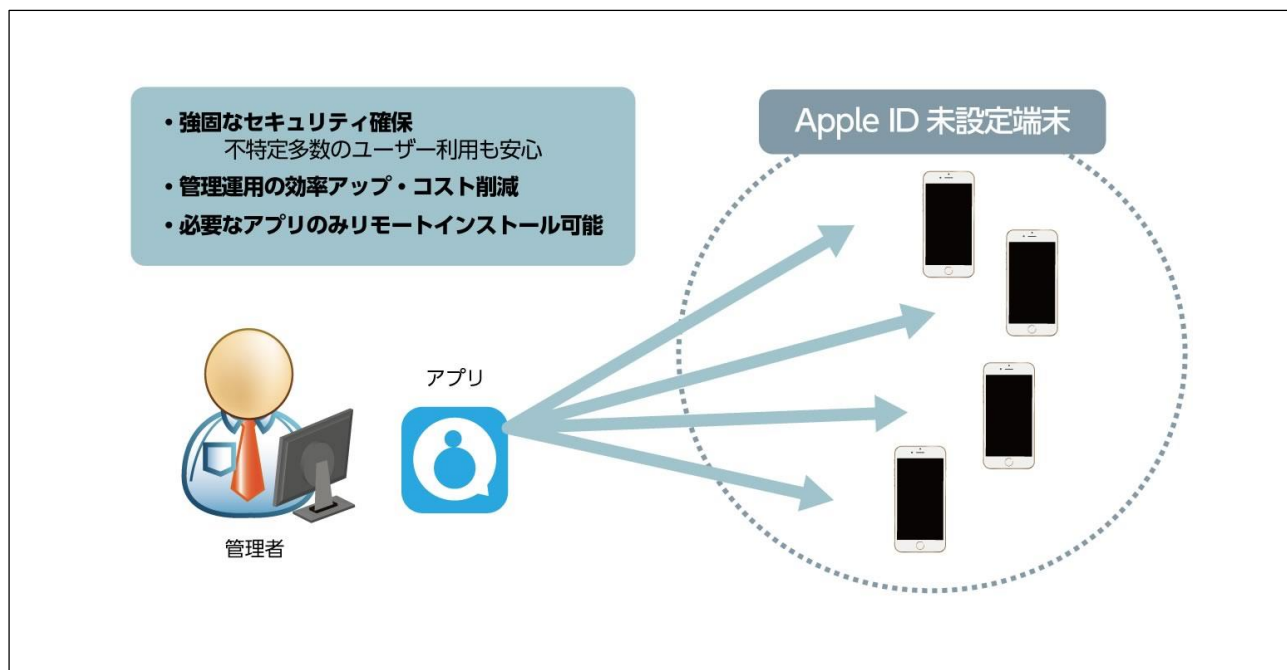
Apple ID を利用せずに、管理者が「SPPM2.0」を通じて管理する端末にアプリをインストール・管理できるようになったことによるメリットは、以下になります。

① 強固なセキュリティの確保

Apple ID を取得しないため、端末利用者が勝手に App Store からアプリをインストールすることができなくなります。これにより、不正なアプリや仕事に関係のないアプリの利用を防ぐことができ、管理対象のデバイスを完全に制御することが可能となります。

② 管理運用の効率アップ

管理者は Apple ID の管理をする必要がなくなり、また端末利用者はアプリ利用の際など Apple ID の入力を求められることがなくなります。

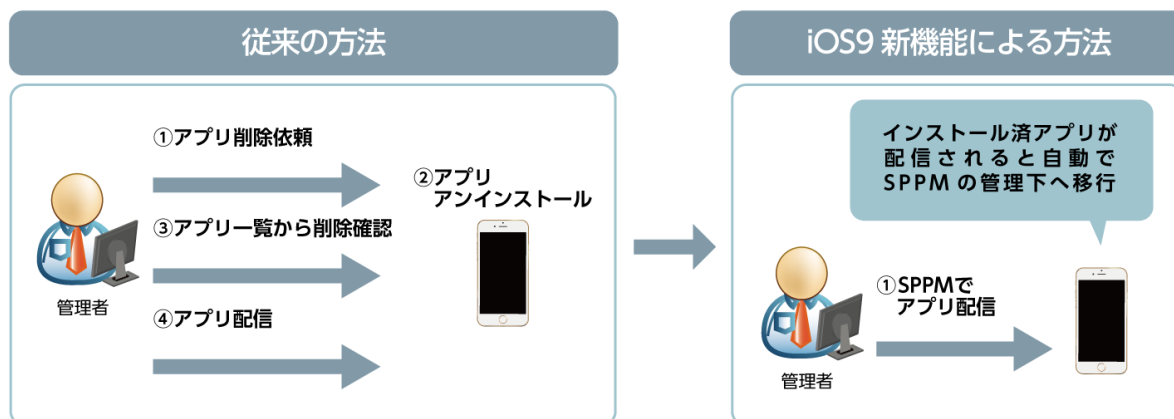


■iOS9 新機能: インストール済アプリの Managed Apps への移行にも対応

インストール済アプリを Managed Apps^(※3)へ移行することが可能となりました。

これまでインストール済みのアプリを MDM の管理下に置く場合、一度端末を持つ社員がアプリをアンインストールしてから、再びアプリをインストールする必要がありました。しかし、本機能への対応により、「SPPM2.0」を通して、自動的にインストール済アプリを管理下に移行することが可能となりました。

インストール済アプリのManaged Appsへの移行



【 今後の展開 】

「SPPM2.0」は、三井住友海上火災保険株式会社様や株式会社前川製作所様、生活協同組合コープさっぽろ様など、これまでの累積利用社数約 3,000 社、管理端末約 300,000 台の導入実績(2015 年 12 月末時点)を持つ純国産の MDM システムです。昨年の Apple 社「Device Enrollment Program」^(※4)への対応、そして今回の iOS9 新機能への日本初対応により、2016 年は、さらに iOS 端末への導入を積極的に展開します。また、管理画面の UI の改善も行い、機能面だけでなく、更なるユーザビリティの向上にも努めてまいります。

※1 VPP は Apple 社「Volume Purchase Program」の略 企業などの組織が、アプリ等を一括購入して組織内のユーザーに配布できるサービス

※2 当社調べ

※3 MDM 管理下にある端末のセキュアなアプリ管理ができる機能

※4 iOS 端末に対して MDM の設定をオンライン上で行い、管理者が端末に触れることなく MDM の管理下に置くことが可能となるプログラム

※5 掲載されている会社名及び商品名は各社の商標または登録商標です。

【 会社概要 】

〔会社名〕 株式会社AXSEED(アクシード) <http://www.axseed.co.jp/>

〔代表者〕 代表取締役 新明 善彦

〔所在地〕 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-19 東建インターナショナルビル 8F

〔事業内容〕 ソフト開発、システム開発・構築・管理・運用、各種情報関連製品・コンテンツ販売

本リリースに関するお問合せ先

株式会社AXSEED

担当: 阿部・安田

TEL: 03-5766-4150 FAX: 03-5766-4151 mail: pr@axseed.co.jp